

創った音楽は 倍返しでやってくる



ハピネス・ヒル音楽祭 前日の練習風景



鈴木 豊団長の話

私たち「幸田シンフォニックバンド」は、平成2年に結成して今年で23年が経ちます。

現在の団員は70人ほどで、幸田町や岡崎市など近隣の20代から50代の音楽好きな人が集まり、幸田文化公園内のさくら会館にて水曜日と金曜日夜に練習しております。

団員は社会人や主婦が中心ですので、毎回全員が集まって練習できる機会は少ないですが、年1回開催する定期演奏会を目標に活動しております。平成26年3月16日(日)幸田町民会館さくらホールにて、第14回定期演奏会を開催いたします。是非お越しください。

団員募集中(問い合わせ先)
080-1591-6210

鈴木 豊団長

今回は、町内で活動している吹奏楽団体「幸田シンフォニックバンド」の皆さんから、ご意見をいただきました。

団員になった きっかけは

- ・団員(先輩・ママ友・父親)からの誘い
- ・広報こうた・ホームページ・ポスターを見て
- ・定期演奏会を聴いて(小学6年生の時からなど)
- ・吹奏楽を続けたい気持ち
- ・音楽の楽しさを見つけた

活動していて一番 うれしかったこと

- ・定期演奏会の成功
- ・お客様の笑顔を見た時
- ・趣味が共通の友ができた
- ・イベントや結婚式で演奏
- ・自分の楽器がほめられた
- ・町外からでも入団できた

つらかったこと

- ・演奏会の準備が大変
- ・時間のやりくり(家族を犠牲にしている)
- ・うまく吹けない時

みんな

喜びが



昨年度 第13回定期演奏会の後で

議会へ「小さな声を見捨てずに」



10月6日 ハッピーネス・ヒル音楽祭

議会に期待

することは

- ・イベントなどで演奏する機会を増して
- ・議員との交流、開かれた議会を
- ・ニートを救える制度
- ・町民の意志を正確に、公平に反映を
- ・町発展のための議論
- ・小さな声を見捨てずに
- ・消費税の増税反対
- ・学費の軽減(大学)

行政に望むこと

- ・一人ひとりに優しい政治
- ・思う存分練習できる会場を
- ・音楽関係者に優しい町に
- ・アマチュア音楽家が安価に参加できるイベントを
- ・バンドを知ってほしい
- ・今の町で満足している

議会だよりを

見てますか

- ・見ている・時々見ている 7人
- ・見ていない・無回答 13人

良いところ

- ・写真が多く、興味のあるページを読んでいる
- ・字が大きく読み易い
- ・いろんな分野の話題が載っている
- ・読み易く工夫している
- ・議論の内容がわかる

悪いところ

- ・数字や文字が多い
- ・身近に感じられない
- ・表紙に中を見たい内容がない
- ・若干すぎ間が多い

本稿の編集にご協力いただきお礼申し上げます。

貴重なご意見を、今後の広報づくりに生かしてまいります。

「幸田シンフォニックバンド」の皆さまの益々のご活躍をお祈り申し上げます。